

# 教育ICTで地方創生、 途上国の活性化に貢献する

㈱教育情報サービス  
代表取締役社長  
**荻野 次信** さん 創価大学文学部卒業

創価大学は、開学以来、国際交流に力を入れ、これまで世界四八カ国・地域の一五六大学と協定を結び、長期・短期を含め年間約八〇〇人が海外留学を経験しています。二〇一四年には国際教養学部を新設、文部科学省の『スーパーグローバル大学創成支援』にも採択されました。

風になびくワシントンアンバームツリーの葉—  
—南国ムードあふれるここ宮崎県から教育IT事業で世界へ羽ばたいている企業がある。荻野次信さんが社長を務める㈱教育情報サービスである。同社では、パソコン上の画像や文書に文字や音声を簡単に付け加えることができる動画教材制作ソフト「ThinkBoard（シンクボード）」を開発、すでに国内の大学や中学・高校、学習塾などの教育現場で活用されており、二〇一四年には、モンゴルでシンクボードを活用した教育システム構築に向けての取り組みがスタートした。また、バンングラデシュでは、現地のパートナー企業とIT技術者養成のためのeラーニングシステム構築事業がJICAの中小企

おぎの・つぐのぶ／一九五九年、宮崎県生まれ。一九八二年、創価大学文学部英文学科卒業（七期生）。予備校講師などを経て、二〇〇一年、教育情報サービス設立。二〇〇九年、動画制作ソフト「ThinkBoard（シンクボード）」が完成。二〇一四年、モンゴル・ウランバートル市教育局と教育協定締結。同二〇一四年、バンングラデシュを対象としたJICAの中小企業海外展開事業に採択。



BCC(バンングラデシュコンピュータ評議会)・アシュラフル局長(右)と

業海外展開事業に採択され動き始めている。「シンクボードは操作が簡単で、通常の動画コンテンツに比べ容量も小さいので、通信

つもりが六カ月も滞在するところになってしまいました。ケニアの人々、特に子供たちとの交流はいい思い出です」荻野さんは、一九八二年に

環境が整っていない途上国でも利用可能です。途上国には、まだまだ教育機会に恵まれない子どもたちがたくさんいます。一人でも多く子どもたちにも学ぶ環境を提供したい。そんな思いでいます」と荻野さん。荻野さんは、学生時代にケニアを訪れた。「居心地がよくて二週間の

は、荻野さんのなかで深く結びついている。モンゴルやバンングラデシュでの事業を手始めに、他の国々にも国内にも広げていきたい。荻野さんの新たな挑戦は続く。

創価大学を卒業し、予備校講師などを経て、二〇〇一年に会社を設立。教えることが大好きだと、自らシンクボードを使った教育コンテンツ作りにも携わっている。しかし、なぜ途上国なのか。「創価大学文系A棟前のプロンズ像には『英知を磨くは何のため 君よ それを忘るるな』と刻まれています。私の人生の指針です。途上国の人びとは『何のために生きるのか』を私たちに教えてくれるような気がします。『この国の子供たちをなんとかしたい』という思いは、『宮崎をどげんかせんといかん』という思いに通じます」グローバル化と地方の創生は、荻野さんのなかで深く結びついている。モンゴルやバンングラデシュでの事業を手始めに、他の国々にも国内にも広げていきたい。荻野さんの新たな挑戦は続く。



創価大学の創始者・池田大作先生は、1996年、アメリカのコロンビア大学ティチャーズ・カレッジで「『地球市民』教育への一考察」と題する講演を行った(写真)。講演の中で、「地球市民」の条件として、「智慧の人」「勇

気の人」「慈悲の人」と提起した。スーパーグローバル大学に採択された創価大学は、グローバルな活躍で、世界の繁栄に貢献する人材を、陸続と輩出する人間教育の世界的拠点となることを目指している。